

海外製PLCデータ収集ソリューション

既存の海外製設備に利用されている海外製PLCからデータを取得！

概要

既存の海外製設備のデータがブラックボックス化していませんか？



既存設備のデータ活用ができない。



既存設備のメンテナンスができない

・既存の海外製設備に利用されている海外製PLCのデータを取り出して活用したい。

・既存の海外製設備に利用されている海外製PLCの故障に備えて保守計画に組み込みたい。

※既存の海外製設備の例
充填機(フィルター)、レトルト殺菌機、ケーサー、粉碎機等

海外製PLCデータ収集ソリューションとは

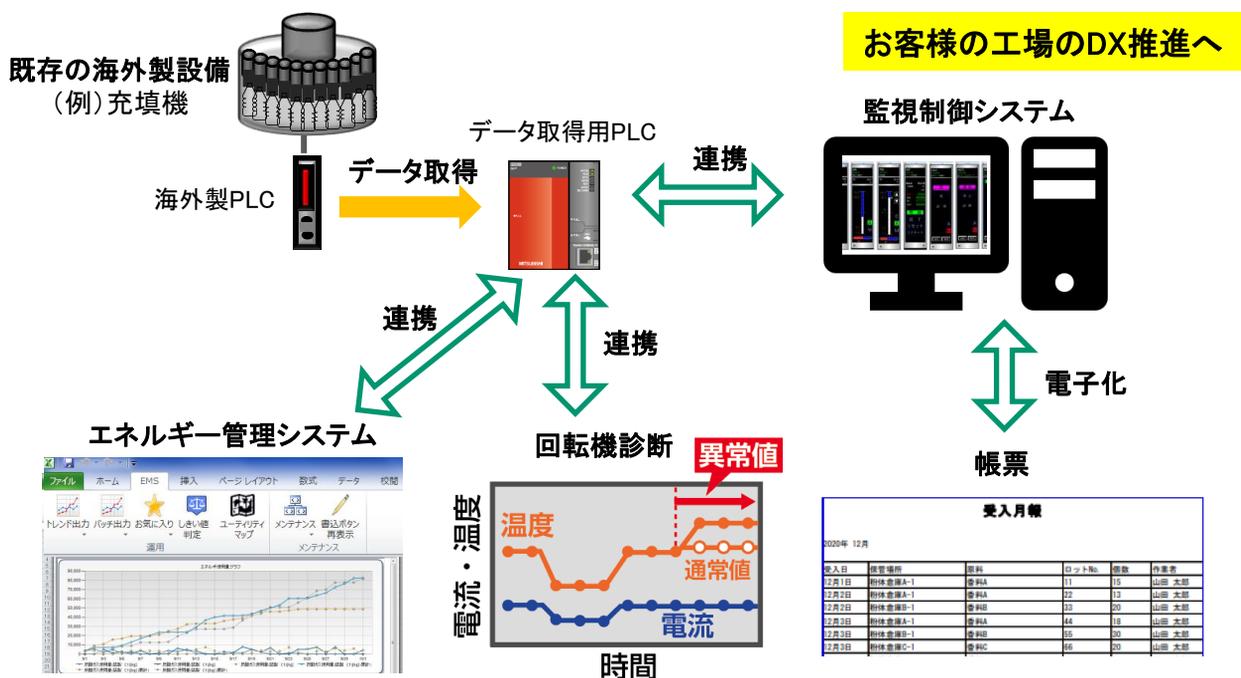
DX化を推進するためには、製造現場のあらゆる情報がデジタル化され、データとして取り扱うことができる環境作りが必須です。海外製PLCデータ収集ソリューションは、これまで困難だと思われていた既存の海外製設備で利用されている海外製PLCから、既存の設備に影響を与えずにデータを取得できます。監視制御システムやエネルギー管理システムなどと連携することで、さらなるDX化の推進が可能です。

また、弊社では一部の海外製PLCの更新(国内メーカーPLC含む)についての実績がありますので、お問い合わせください。

特長と効果

既設の海外製設備の海外製PLCからデータ取得を可能にし、様々なシステムとの連携をお手伝いします。

- 既存の海外製設備に影響を与えず通信に必要な改造を行います。
- 三菱電機製PLCなどの国内メーカーPLCとの接続も可能です。

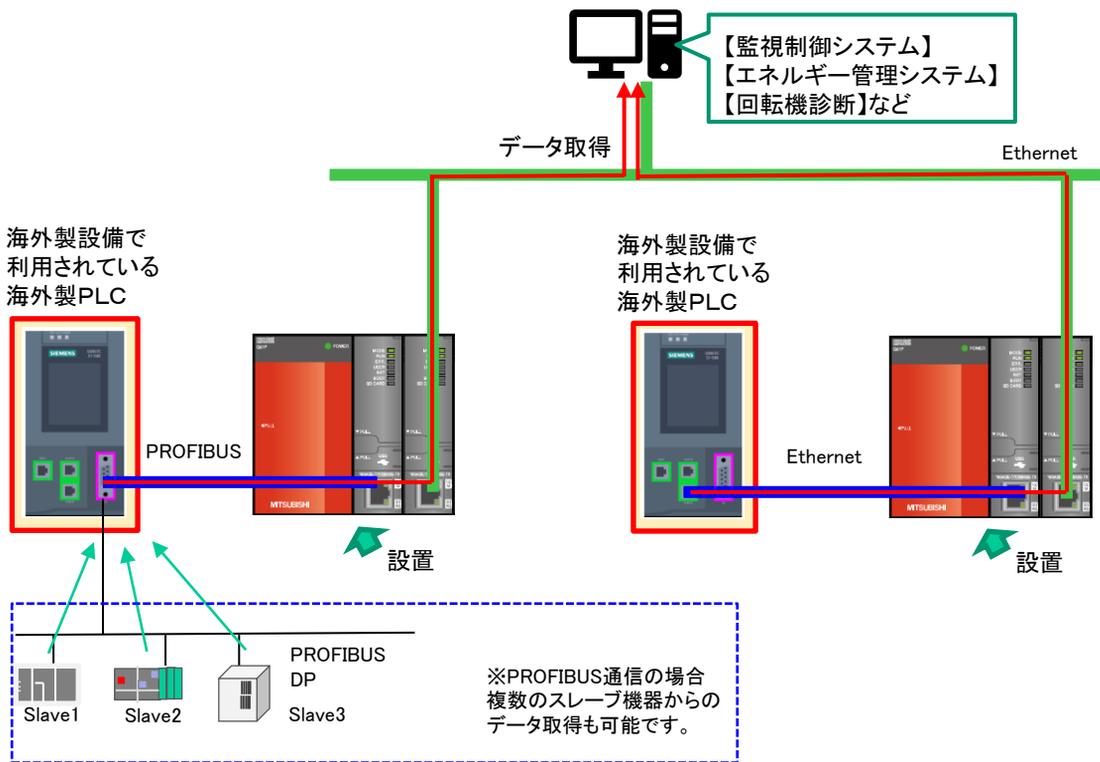


導入前	導入後
充填機等の海外製設備からデータを取得することができず、データの活用が困難だった。	設備から取得したデータを「監視制御システム」、「エネルギー管理システム」、「回転機診断」などに連携することで、「帳票作業の自動化」、「設備停止の要因分析」などに活用することができた。これにより業務改善につながった。
海外製設備に利用されている海外製PLCが廃型になっているのを知らなかったため、PLCが故障した際に設備も停止してしまう危険があった。	PLCを更新することにより、設備が停止するリスクを軽減できた。また、設備保全計画を立てられるようになり、TBM(定期保全)が可能になった。

システム構成例

既存の海外製設備に利用されている海外製PLCへの影響を最小限にするため、国内メーカー製のPLCを設置して、通信でデータ取得を可能にします。(データの例: 数値データ、故障信号 等)

例) 国内メーカー製PLCを設置し、データを取得する場合(海外製設備で利用されている海外製PLCの更新なし)



株式会社 TMEiC

本社：〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン
URL <http://www.tmeic.co.jp>

●本カタログのお問い合わせ

営業窓口 Tel:03-3277-4991 Fax:03-3277-4574
技術問い合わせ Tel:03-3277-4440 Fax:03-3277-4572

メールアドレス info-filling-line@tmeic.co.jp

- ・PROFIBUSはPROFIBUS Nutzerorganisation e.V.の登録商標です。
- ・Ethernetは、富士フィルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。
- ・その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・記載されている会社名および製品名などには、必ずしも商標表示(®、™)を付記していません。
- ・本カタログに記載された内容および製品仕様は、予告なく変更することがあります。

安全に関するご注意	正しくお使いいただくために ご使用前に必ず「取扱-操作に関する説明書」を お読み下さい。
-----------	--